

児童発達支援自己評価表 事業者等向け

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	○		・適切である(提出上は)ただもう少し広いとよい ・ブースをわける時に保護者からきちんと見えるかどうかを気にかけている
	2	職員配置数は適切である	○	○		・ギリギリの人員配置である
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	○	○	・バリアフリーになっていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	○	○	・ざわつくとなりからドンドンとたたかれるので精神的によくない ・グループ療育中、歌を歌ったり、運動の時間など子どもたちの声が大きくなると隣の壁をたたかれる。 ・防音設備を整える必要があると考えられる ⇒不動産会社を通じて法人代表が対応中。
業務改善	5	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画している	○		○	・振り返りが出来てないように思われる(共通理解) ⇒4コマ目の片付けを翌日に行い夕礼で振り返りを必ず行う。
	6	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	○		ホームページはなく、ブログのみの発信であるため、現在キッズⅠのホームページをキッズⅠとⅡ2つあることを明確に示すよう変更するか、キッズⅡのホームページを新しく開く必要があると考える ⇒ホームページに関しては、今後検討します
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○	○	・第三者による外部評価を受けていない
	9	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・毎月1回研修(もう少しあってもよいかも)
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			

適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達新の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
13	児童発達支援計画に沿った支援が行なわれている	○			・個別・グループ・フィードバック時の子どもの様子を職員で共有しながら行っている
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	○		・もう少し皆で話し合い出来ると良い ・個別・グループ・フィードバック時の子どもの様子を職員で共有しながら行っている ・一人で考えることが多い(時間が限られていて)為、会議などで話し合える機会が出来ることを望む ⇒夕礼で話し合いの時間を持つ
15	活動プログラムが固定しないように工夫している	○			・情報を共有しながら、様々なアイデアを聞いてプログラムを作成している
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成している	○			
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・毎日の朝礼で行っている
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			・終礼で行っているが時間がなく気づいた点まで話せない時もある ・毎日の夕礼で行っている ・振り返りを行う時間が短く、子供の様子を知ることができるが支援について話す時間が必要 ⇒夕礼で話し合いの時間を持つ
19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	○	○	・相談支援事業所のサービス担当者会議は開かれていない ・TELのみの問い合わせだったりする

関係機関や保護者との連携  
関係機関や保護者との連携

22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっている	○	○		・園との連携を行っていると思う ⇒もう少し園との連携をとれるようにする
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっている	○		○	・医療的ケアが必要な子や重症心身障の子がいない
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医等や協力医療機関と連絡体制を整えている	○		○	・医療的ケアが必要な子や重症心身障の子がいない
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・見学に行って話し合いの場を持っている ・見学に来てもらったりもしている
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	○	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けている	○	○	○	・こっこさんの研修があった方がいいのでは？ ⇒外部研修に関しては今後法人代表を交えて検討する
28	保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○	○		・今はコロナでむずかしいが、交流が増えるといいと思う
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	○	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもとの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
31	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	○	○	
32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信している	○	○		・ブログで活動概要を伝えている ・他は個別で連絡
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・体験、見学 ・こどものひろば・子育て支援講座の再開を検討
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出、その他必要な訓練が行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況をかくにんしている	○			
	44	食事アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		○	・食事提供はしていない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			

	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載されている	○	○	補助椅子等の使用の仕方について保護者に直接話はしているが、個別支援計画には記載していないため、改善が必要であると考え ⇒補助椅子が必要な利用者に対し計画に記載するようにする
--	----	---	---	---	---